建築振興の功績称える

倉内芳美氏旭日双光章受章祝賀会

さらなる活躍に祈念

多年にわたり建築文化の振興に従事、業界の発展向上に寄与したことが称えられ、16年春の旭日双光章を受章した倉内芳美氏（県建築士事務所協会理事、倉内建築設計事務所）の叙勲祝賀会が23日、鹿児島市の城山観光ホテルで開かれ、業界関係者や親族ら約150人が出席して、同氏の功績を称賛するとともに一層の活躍を祈念した。

会ではまず、発起人を代表して大原達也県建築士事務所協会会長（㈱大原設計社長）が、長きにわたり同協会理事を務めるなど業界発展に寄与した功績などを紹介し、「明るく温厚な人柄をもって、今後ますます活躍されることを願っています」と挨拶。次いで、加藤憲一県土木部長（代読・山下孝志県建築技監）、川原秀男県議会議長、永田優治県土地家屋調査士会会長が「豊富な経験と優れた指導力で、郷土の建築業界の発展に一層活躍されることを祈念します」などと祝辞を寄せた。

これを受けて倉内氏は「協会を含め、これまで支えていただいた皆さま方には心から感謝いたします。この受章を一生の宝に、微力ながら今後も業界・社会の発展に努めていきたい」と謝辞を述べた。

続いて、業界関係者から記念品、お孫さんからの花束贈呈が行われた後の祝宴では、軽音楽も披露されるなど、笑顔の絶えない倉内氏を囲んで終始和やかムード。氏の受章を喜ぶとともにさらなる飛躍に期待した。

倉内氏の功績を称えた叙勲祝賀会
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

の労務対策について審議した委員会
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

九州建設業協会労務対策委

委員長 木山氏 今後の労務対策審議

木山裕継委員長

九州建設業協会（川畑俊彦会長）は23日、鹿児島市の城山観光ホテルで16年度第1回労務対策委員会を開き、下落する公共工事の設計労務単価や労働雇用安定支援事業など今後の労務対策について審議した。

九州各県の協会から計28人が出席した会では、初めに川畑会長が「景気も回復傾向にあるというものの地方部においてはその実感が極めて薄く、建設業を取り巻く環境はいまだ依然厳しい状況。建設投資の縮小に伴う受注競争の激化、雇用労働者数も数年、減少の一途をたどっている。生き残りへ向けて今こそ、労務対策に力を注ぎ、ともに力を合わせて乗り越えていきたい」と挨拶。

出席者全員の自己紹介が行われた後、新委員長と副委員長を選任。木山委員長のほか、副委員長に長崎県建設業協会の宮原増幸氏（㈱星野組）を選出。両氏は「厳しい状況、多くの諸問題が解決に向かうよう全力を尽くします。ご支援よろしくお願いいたします」などと就任の抱負を語った。

引き続き、行われた議事では、下落する公共工事の設計労務単価や労務費調査の在り方、若手技能職（石工）の育成や建設労働者の確保対策などを議題に、「ぜひ、現場の実情をもっと出していただきたい」と挨拶。

出席者全員の自己紹介が行われた後、新委員長と副委員長を選任。木山委員長のほか、副委員長に長崎県建設業協会の宮原増幸氏（㈱星野組）を選出。両氏は「厳しい状況、多くの諸問題が解決に向かうよう全力を尽くします。ご支援よろしくお願いいたします」などと就任の抱負を語った。

引き続き、行われた議事では、下落する公共工事の設計労務単価や労務費調査の在り方、若手技能職（石工）の育成や建設労働者の確保対策などを議題に、「ぜひ、現場の実情をもっと出していただきたい」なる業界発展へ結束を強めた。

県地質調査業協組総会

ボーリングマシン運転等講習会を実施

新たな体制づくりを推進していかなければ――と挨拶する宇都理事長＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

県地質調査業協同組合（宇都忠良理事長）は23日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で16年度通常総会を開き、組合員の受注を積極的に支援することや技術向上のための各種講習会の開催など柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに宇都理事長が「業界を取り巻く環境は依然厳しい状況だが、技術力の向上などで受注は増加傾向にある。今後は、組合員各社がそれぞれの立場で組合のあり方などしっかり考え、新たな体制づくりなど推進していかなければ」と挨拶。

引き続き、西幸男氏（㈱植村地質コンサルタンツ）を議長に選出し議事に入り、15年度事業報告及び収支決算報告、16年度事業計画・収支予算案などを審議、すべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①共同購買事業（メーカー商社と協議し、取り扱い品目の開拓に努める）②共同受注事業（陳情活動を行うなど組合員の受注を積極的に支援）③共同利用事業（高圧孔内水平載荷試験機・電気探査装置など共同利用による効率化）④教育情報事業（地質調査技士受験対策、ボーリングマシン運転等の講習会の実施や建設CALS、ISO9000シリーズに対する研究など）を掲げている。

ゴルフ大会 出口さん優勝

なお、同日は鹿児島郡吉田町のゴールデンパームカントリークラブでゴルフ大会も行われ、天気にも恵まれ、参加者らはプレーを満喫した。

ゴルフ大会の成績は次の通り。

優勝＝出口久善（㈱アーステクノ）N68・8▽準優勝＝今村貢（㈱日本ジオテック）N69・4▽3位＝谷山誠（㈱山元地質）N70・8▽ニアピン＝岩田秀樹（アジアテック㈱）米玉利哲朗（南九地質㈱）林秀一（アジアテック㈱）松元泰則（㈱豊正技建コンサルタント）▽ドラコン＝米玉利哲朗（南九地質㈱）谷山誠（㈱山元地質）

応急手当を学んだ講習
＝大隅町の大隅建設会館で

大隅建設協組初の安全大会

救急処置法を習得

大隅建設協同組合（立山泰士代表理事、30社）は20日、曽於郡大隅町の大隅建設会館で組合発足後初めての安全大会を開いた。約70人が参加して応急手当や心肺蘇生法などを学び、現場等での救急処置を取得した。

同日は、現場代理人や事故防止が大切ですが、もし発生した時の処置を勉強します」と挨拶。

続いて、大隅曽於地区消防組合が準備した「応急手当の基礎知識」と題したスライドを見て止血などを勉強した後、北部消防署救急隊も加わり心肺蘇生法や止血の方法、

県建設業協会出水支部ソフト大会

野村建設工業が優勝

選手宣誓する豊岡選手（大川建設）＝出水市の多目的グラウンドで

県建設業協会出水支部（桑木康行支部長）は22日、出水市多目的グラウンドで第31回親睦ソフトボール大会を開き、熱戦の末、野村建設工業㈱（本鍋田栄作監督）が昨年度優勝の㈱門田建設を5対3で破って優勝した。

開会式で大会実行委員長の桑木支部長は「伝統ある親睦ソフト大会です。和気あいあいにプレーしてがんばって下さい」と選手らを激励した。長野智史選手（㈱門田建設）から優勝旗が返還され、大川建設㈱の豊岡大一選手が力強く「建設業精神にのっとり正々堂々と闘います」と選手宣誓。参加14チームが4コートに分かれて熱戦を繰り広げた。

優勝した野村建設工業㈱は「予選で門田建設さんに負け、昨年も優勝決定戦で負けているので今年こそはと燃えました。心が一つ、チームワークの勝利です」と語った。

優勝が野村建設工業㈱、準優勝は㈱門田建設。3位は㈱桑木組。4位は片角産業㈱。

【訂正】23日号10面、鹿児島県しろあり事業協同組合の広告中、加盟店で大脇白蟻研究所とあるのは㈲大脇シロアリの誤りでした。お詫びして訂正致します。

払いはお手軽で便利な
鹿児島建設新聞
振替で
227-5100へ